



特集

明石市立天文科学館 星の友の会



明石市立天文科学館 星の友の会

「星の友の会」は、星や天体、宇宙に関することについて知りたいなど、天文知識の向上と親睦を図ることを目的とした会です。明石市立天文科学館を拠点として子どもから大人まで楽しく活動しています。天文科学館が開館した翌年の1961年に発足しました。今年は星の友の会65周年の記念の年です！

星の友の会 行事

1 会報「135°の星空」の発行(年4回)

星の友の会の行事やサークル活動の報告、天文現象の情報等について、会員の皆さんの記事を掲載して発行しています。



2 例会開催(年4回)

「こんな天文台・科学館に行ってきました」「こんな天体を見ました」「こんな子午線標識を見てきました」など、さまざまなテーマで発表や報告をおこなう、会員の皆さんの交流の場、情報交換の場です。

R7年度第4回例会では、3人の会員からそれぞれ「東経123度45分6.789秒」「明石の高校生の活動をご紹介します」「2025オーロラ観測報告@イエローナイフ」というタイトルで、日々の活動報告や訪れた場所の紹介といった内容の発表がありました。



3 星の友の会・天体観望会(年3回)

星の友の会だけの天体観望会です。16階観測室の40cm望遠鏡などを使って天体を観望します。

R7年度は天候に恵まれ、月や水星、火星、木星、土星などの惑星や、1つの星が望遠鏡では2つに見える二重星、ぼんやりと浮かぶ星雲や、たくさんの星が集まって輝く星団などを楽しみました。



休館中も明石公園で観望会を実施しました

4 野外天体観測会(年2回)

会員の皆さんの交流を深め、星空を満喫するイベントです。近隣の施設に出かけます。

R7年度は夏に「あわじグリーン館」、冬に「姫路科学館」「星の子館」で野外天体観測会を実施しました。



5 サークル活動

友の会の有志が集まって活動しています。

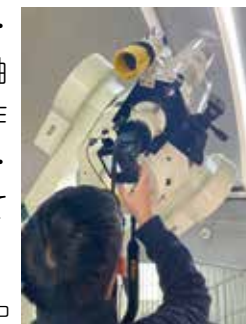
●うちゅうかがくサークル

天文や時に関係する理科実験と工作を中心に活動しているサークルです。日時計やレジンを使った工作から、気象天気図、フィルム写真など、メンバーのやりたいテーマで活動し、会員向けワークショップも開催しています。



●天文探究サークル

知りたいこと・疑問なこと・やってみたいことなどを、実習や観測をとおしながら学び合います。これまでに、太陽(H α 、スペクトル、黒点のスケッチ)、天文解析ソフト(Makali'i・RSpec)、ニュートン反射の光軸修正、クロスフィルターの製作をはじめ、京都大学花山天文台・岡山天文台の見学などを行ってきました。(対象：中学生以上)



天体写真の撮影に挑戦中

●子午線文化研究会(子午線同好会)

東経135度日本標準時子午線の標識をめぐる旅(ブラシゴセン)を楽しみます。



●ほしとも学生部

若い世代が集まって、やりたい活動をしています。メンバーそれぞれが違う環境にいて、お互いの活動を高め合うことを目標としています。(対象：中学生～20歳)



2026年度明石市立天文科学館 星の友の会会員募集!

年会費

個人会員：2,000円 ※小学4年生以上
(10/1以降の入会は1,000円)
家族会員：3,000円 ※同居している家族
(10/1以降の入会は1,500円)

入会方法

- 1 ご来館の場合：星の友の会の例会や、天文科学館1階受付にて入会(現金払い)
 - 2 郵便振替の場合：郵便局の窓口を設置してある払込取扱票を使って年会費を振り込み
 - 3 口座振込の場合：星の友の会までメールでお問い合わせください
- ※詳しくは、HPをご覧ください。

特典

- ★年間の星の友の会行事への参加回数に応じてお楽しみプレゼント(4回・8回/例会・友の会天体観望会・野外天体観測会など)
- ★例会の開催(例会参加時の入館料は無料)
- ★野外天体観測会・施設見学会等の開催(別途費用が必要)
- ★天文科学館の天体観望会の参加費無料
- ★星の友の会天体観望会の開催
- ★友の会会報「135°の星空」の発行・配布
- ★館広報誌「星空のレシピ」の配布、イベント等も随時お知らせします。
- ★天文科学館ボランティア『天ボラ』に参加できます。
- ★サークル活動に参加できます。

星の友の会会員の声



星の友の会の魅力について、アンケートで回答をいただきました。
(2025 年度会員数 275 名、42 名からの回答)

Q1 星の友の会の行事の中で良かったもの、楽しかったものは？

- 1位 野外天体観測会 (22 回答)
天ボラ活動ができる (22 回答)
- 2位 星の友の会・天体観望会 (21 回答)
- 3位 例会 (14 回答)
広報誌「星空のレシピ」やイベント案内が届く (14 回答)
- 4位 会報「135°の星空」の発行 (11 回答)
サークル活動 (11 回答)
- 5位 その他 (天文施設の見学会など) (2 回答)

Q2 星の友の会のオススメポイントや入会して良かったことは？

- 星・天文が好きな仲間ができたこと。
- 星好きの人と知り合えて、交流ができたこと。
- いろいろな人と出会いのあるところ。
- いろいろな天体や時について、知識を習得することができたこと。
- いろいろな知識や経験を持った天文や天体写真に詳しい人と知り合いになれること。天文以外にもプラネタリウムの投影機や暦、子午線に造詣の深い会員さんもあり、いろいろな面から楽しむことを教えてもらえる。
- 星の友の会の皆さんは、簡単なことでも丁寧に教えてくれます。どなたに聞いても、親切に教えてくれる。星のもとでは、みんな仲間って感じるところが、サイコーに素敵なおところですよ。

Q3 これから星の友の会に入会してみようと思う方に向けて、メッセージをお願いします。

- 詳しいことは知らないけど星が好きという方から、観測や撮影の大ベテランまでいろんな方がワイワイ活動しています。どんな方にも楽しい会になるところですよ。
- 宇宙が好きなの人も、人と関わるのが好きなの人も、年齢関係なく誰でも気軽に入れます。宇宙のことについて深く知ることができて、コミュニケーションの輪も広がられるのでいい経験になります。
- 星のことが好きだけど、難しいことはわからない。一人で参加しても大丈夫かなって入会することに躊躇している方へ。心配しなくていいですよ。星が好きってだけで、入会資格は充分です。友の会の方が、親切に教えてくれます。こんなことも知らないのかって誰一人言いません。星の魅力を語ってくれるだけです。
- 知らないことがまだまだいっぱいあると気付ける面白さ。難しいお話も分かり易く解説いただき「へー」と体験できる楽しい時間と空間です。

★ボランティアについても回答をいただきました

Q 始めたきっかけは？

- 天文科学館が好きだから
 - 星や宇宙が好きだから
 - 子午線や時が好きだから
 - こどもたちと接するのが好きだから
 - ボランティア活動に興味があったから
- など、様々です。



Q ボランティア活動で楽しかったこと

- こどもたちや星好きの人と接することができたこと。
- お客様に感動してもらえたこと。喜んでいただけたこと。
- 星をきっかけにいろんな方とお話しできるのが楽しく面白いです。
- 仕事以外でいろいろな人と知り合いになれたことや、人前で話す度胸がついたこと。
- 自分の知識も増えること。
- キッズルームでこどもたちと一緒に簡単な折り紙をすると、こどもたちが笑顔になり楽しい時間を共有できること。
- 天ボラ仲間やお客様で年代の違う方や、それぞれ興味の対象が違う方など、幅広い触れ合いができること。話の内容や、相手に合わせた話し方など勉強する機会になったこと。
- 仕事や家庭以外での、別のコミュニティーでの交流の幅が広がったこと。

天文科学館ボランティア(天ボラ)大募集！

時や宇宙を学び、楽しむことのできる展示室や、キッズルーム、天体観望会を舞台に、ボランティア活動してみませんか。

1 「天ボラ」3つのグループ

●展示解説グループ

3 階展示室で「太陽系儀」や「月の満ち欠け」の展示を中心に展示解説をおこないます。

●キッズルームグループ

4 階キッズルームで、絵本の読み聞かせなど、子ども達が楽しく遊べるようにお世話をします。

●天体観望会グループ

観測室の一般公開や天体観望会で、望遠鏡の操作や説明をします。

2 「天ボラ」への参加方法

★「星の友の会」への入会

天ボラで活動するためには、星の友の会に入会していただく必要があります。

※ボランティアだけではなく友の会活動もとおして、交流を深め、より活動を広げていくためです。

★天文科学館が実施する研修を受講

※研修内容は「天文科学館の概要」「ボランティア制度と趣旨」「館の展示について」などの基礎研修と、「展示解説模擬」「読み聞かせ模擬」などを館内でおこなう実践研修があります。

※天体観望会グループで活動される場合は、基礎研修・実践研修とあわせて天体観望会グループ研修を受講してください。内容は「望遠鏡のしくみ」「望遠鏡の操作方法について」などです。

※詳しくはHP等で順次お知らせいたします。

3 その他

- 年齢制限：ボランティアに参加できる年齢は 16 歳（もしくは高校生）以上です。
- 活動日：活動日は、土・日・祝日および夏休み期間や繁忙期です。
- 活動費：1 日の活動ごとに活動費（1,000 円）を支給します。

星の友の会会員の作品を紹介する特別展を行いました

4 月 4 日（土）から 4 月 19 日（日）の期間で、特別展「星の友の会・時と宇宙の写真展」を行いました。この特別展は、星の友の会の会員が撮影した、子午線標識や日時計といった「時」に関する写真や、天体写真や星景写真といった「宇宙」に関する写真などを展示した写真展です。天文科学館が休館中のため、イオン明石ショッピングセンターでの開催でした。休日は特に人通りが多く、たくさんの方に星の友の会の活動を見ていただくことができました。



2025-2026

明石市立天文科学館リニューアル情報

約10か月間の休館期間を経て、より快適で魅力あるミュージアムとしてリニューアル・オープンします！



●プラネタリウム 伝統+最新！

この機会にプラネタリウムの設備も一部リニューアルしました。全天周映像を投影するためのプロジェクターが新しくなり、国内現役最古のプラネタリウムと伝統の生解説はそのままに、より鮮明な迫力ある最新映像で宇宙を体感していただけます。音響設備も一新し、素晴らしいプラネタリウム体験をお届けします。

●「時」の展示を充実！

リニューアル・オープンにあたり、セイコーグループ(株)より昨年開催された大阪・関西万博のクラゲ館で展示された「セイコークラゲ日時計」の寄贈を受けました。直径2メートルの大型日時計です。屋上防水工事にともなって景観も一新される日時計広場の、新たなシンボル展示となるでしょう。

●設備リフレッシュ！

空調設備の更新により、エリアごとの温度設定で館内環境がより快適に。照明設備の更新とあわせて、環境にもやさしくなります。また、エレベーターもリフレッシュ。星空と子午線ラインがデザインされた天井が人気のカゴはそのままに、巻上機などをリニューアルすることで移動時間を短縮。フロア間の移動がよりスムーズになります。

●登録博物館に！

明石市立天文科学館はこれまで、博物館法における博物館相当施設でしたが、博物館法の改正にあわせて、工事期間を活用し、登録博物館へ移行の手続きをすすめ、令和8年5月13日付けで登録博物館となりました。



引き続き稼働するプラネタリウム投影機



設備工事にあわせてカーペットもリフレッシュした14階「明石海峡絶景展望台」

7月30日にリニューアル・オープン！

日本標準時子午線上で時と宇宙と人をつなぐミュージアム・明石市立天文科学館のリニューアル・オープンを、乞うご期待ください！

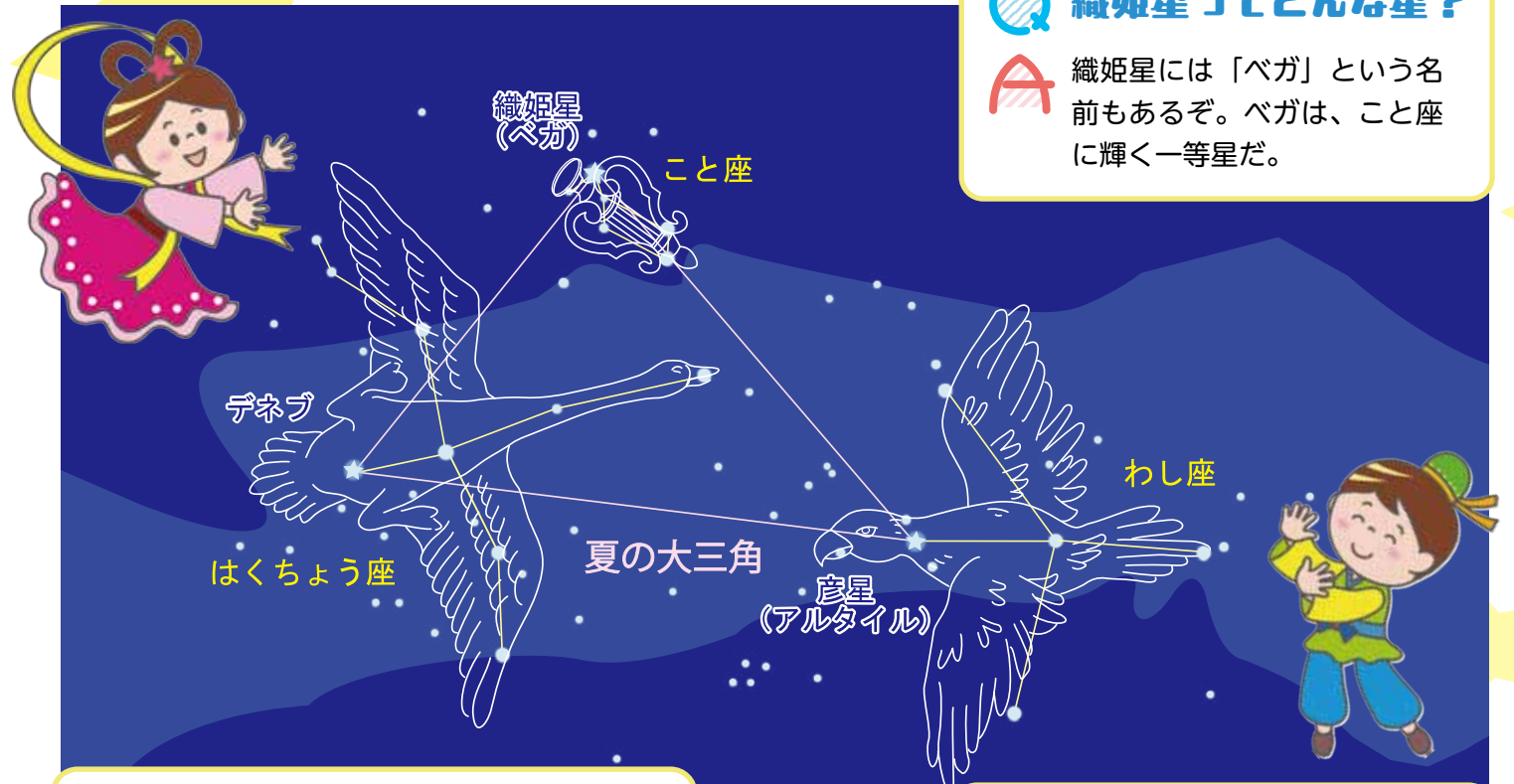


たなばた ほし ほし 七夕の星ってどんな星？

7月7日は何の日か知ってるかな？そう！七夕の日だね。七夕は星のお祭りだ。「天の川の両端にはなればなれになった織姫と牽牛が年に1度会うことができる」というお話が、もともになったといわれているんだ。2人の星を夜空でみつけてみよう！

おりひめほし 織姫星ってどんな星？

A 織姫星には「ベガ」という名前もあるぞ。ベガは、こと座に輝く一等星だ。



けんぎゅうせい ひこほし 織姫星と牽牛星（彦星）はどこで見つけられるの？

A 2つの星は、7月7日の夜9時ごろ、東の空で見つけることができるぞ。

けんぎゅうせい ひこほし 牽牛星（彦星）ってどんな星？

A 彦星のもう一つの名前は「アルタイル」というぞ。わし座に輝く一等星だ。



シゴセンジャーブルー

織姫星と彦星と
はくちょう座のデネブを結ぶと
「夏の大三角」になるんだ。



ブラック星博士

2つの星の間には、ぼんやり白い
天の川を見ることができるんだ。

たなばたの準備は
ばたばたじゃ～～！！



シゴセンジャーレッド



ミート・ザ・天文科学館 at あかし市民広場

11月23日(日)～24日(月・振)
1月23日(金)～25日(日)
2月13日(金)～15日(日)

休館中の出張イベントとして「ミート・ザ・天文科学館」を実施しました。あかし市民広場では移動式プラネタリウム他、キラキラ星座カード作りや紙コップと偏光板を利用した万華鏡工作、SORA-Q操作体験、オーロラのパネル展示などバラエティ豊かなイベントを行いました。



移動式プラネタリウムでは、その日の星空解説から宇宙旅行まで、幅広い世代のみなさんに楽しんでいただくことができました。1月と2月の開催時には「シゴセンジャーレッドとクイズ大会」も行い、少し難しいクイズに会場は大いに盛り上がりしました。

休館中で天文科学館に来られない方にも天文科学館の活動を楽しんでいただく大変良い機会となりました。

天文科学館展 IN 文化博物館 (2026年全国カレンダー展)

12月24日(水)～1月18日(日)

今回で56回目となる全国カレンダー展は、休館中の天文科学館を飛び出して、明石市立文化博物館ギャラリーで開催しました。

全国の企業や機関、動物園や水族園などの施設から提供いただいた130点を超えるカレンダーを一堂に展示したほか、天文科学館が所蔵する「伊勢暦」をはじめとする暦関連資料も展示しました。会期中の土日には学芸員によるギャラリートークも実施。いつもと場所は異なりまし

たが、美しい写真や絵画、かわいい動物たち、くすっと笑える楽しいものなど、バラエティゆたかなカレンダーを多くの方に楽しんでいただくことができました。



令和7年度「宇宙の日」記念行事 全国小・中学生作文絵画コンテスト作品展

1月28日(日)～2月8日(日)

「宇宙の日」は、1992年9月12日毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトル・エンデバー号で初めて宇宙へ飛び立った日です。この日(9月12日)を記念して、全国50以上の科学館において作文と絵画が募集されました。当館には171点の力作が寄せられました。その中から選ばれた、優秀作品をイオン明石ショッピングセンターの2番街2階通路に展示しました。今年度のテーマ「月面都市-みんなが想像する自由な未来-」をイメージして描いた絵画と作文の力作が並びました。作品展の最終日2月8日(日)には、各賞の受賞者の表彰式を行いました。



ミート・ザ・天文科学館atイオン明石ショッピングセンター

2月8日(日)

シゴセンジャーが休館中の天文科学館から飛び出し、イオン明石ショッピングセンター2番館1階 SEA PARKに登場!!当日は雪が降り積もる中お越しいただいた、多くのお客様の声援を受けて、ブラック星博士とシゴセンジャーの熱い(寒い?)戦いが繰り広げられました。また、天文科学館の学芸員による星空解説も行われ、ご来場いただいた皆様とともに、明石でその日見ることができると、冬の星座を鑑賞しました。併せて開催された万華鏡工作・キラキラ星座カード工作などのワークショップでは、会場近くを通行されていた方々にも興味を示していただき、ほぼ満席と大盛況でした。



夕焼けパンダライブ配信

3月1日(日)

休館中2回目の「夕焼けパンダライブ配信」は工事中の14階展望室から行いました。ヘルメット姿の井上館長ですが、よく見るとヘルメットにはパンダが付いています。忙しい中、一体いつパンダを準備したのか...それはさておき、当日はお昼間大変良い天気だったのですが、パンダが出現する時間が近づくと、薄い雲か黄砂か、地平線近くが少し霞んできました。パンダは出現するのか、しないのか、ドキドキひやひやしながその時を待ちます。すると、現れました!少しぼんやりしていますが、パンダの姿です。ライブ配信を視聴されている方から「休館中モフモフパンダ」と命名いただきました。

今回の夕焼けパンダは10月です。リニューアルした展望室からパンダの姿を見ることが出来るのか、乞うご期待です。



皆既月食特別観望会

3月3日(火)

今回の皆既月食は、YouTube配信と明石公園での観望会の2班に分かれて臨みました。当日は朝から雨でしたが、観望会スタッフは会場が雨が止むのを待ちながら、YouTube配信を見つめました。YouTube配信では、皆既月食のタイムスケジュールの解説や晴れている地域の月食中継の紹介などをしながら、晴れるのを待ちました。

皆既の時間が過ぎた頃、雲が晴れて月が見えてきました。明石公園では、晴れるのを待つてくださった参加者の皆さんと一緒に、深く欠けた月を見ることができました。そこからは長く雲がかかることもなく、望遠鏡で月を眺めたり、望遠鏡で見た月をスマートフォンで撮影したり、一人1台ずつ双眼鏡を使って観察したりと、刻一刻と明るくなっていく部分月食の様子をじっくり楽しむことができました。



特別展SSP展「自然を楽しむ科学の眼」

3月7日(土)～29日(日)

昨年度より実施している「日本自然科学写真協会(SSP)」の展示を、今年は、天文科学館を飛び出して、明石市立勤労福祉会館で開催しました。動物、植物、昆虫などの生き物や天体、風景などを科学の視点で撮影した自然科学写真や動画が並びました。キャプションには、写真を見るだけでと気づかない科学の視点が解説されています。来場されたみなさんは、じっくりと時間をかけて鑑賞されていました。



館長コラム



天文科学館は人丸山という小高い丘に立地しています。都市部にありながら、東側エリアに一步入ると木々に囲まれガラッと雰囲気が変わります。私も大好きな空間ですが、工事期間中は封鎖されていたので、しばらく人丸山の「自然」に触れることができませんでした。人丸山に住む鳥たちも生活のリズムが変わったのかもしれませんが。例年、春先にウグイスの歌声が聞こえていたのですが、今年は気配がありません。代わりに、空を見るとカーカー、ピーヒョロロ。カラスとトビがケンカをしています。これはウグイスも落ち着かないな一、と妙に納得してしまいました。工事が終わり、不思議なことにトビもカラスも姿を消しました。足場が気に入っていたのかもしれませんが。工事業者さんの仕事が一区切りし「ありがとうございました」とあいさつをした直後のことです。人丸山に響く声で「ホーホケキョ!」なんとまあ。ウグイスも工事が終わるのを見守っていたみたい。タイミングの良さに笑ってしまいました。みなさん、お待たせしました。もうすぐリニューアル・オープンです。





投影開始時刻と投影時間が変わります

プラネタリウム投影案内

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
平 日	10:00 団体予約がある場合のみ	11:30	13:00	14:30	16:00
土・日・祝 および 学校長期休業中※	10:00 キッズ プラネタリウム	11:30	13:00 キッズ プラネタリウム	14:30	16:00

投影時間：約45分

※(夏休み)2026年8/1～8/30

(冬休み)2026年12/25～2027年1/7

(春休み)2027年3/25～4/11



プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったおはなしをわかりやすく紹介します。

リニューアル・オープン記念「明石発・宇宙の旅2026」

7月30日(木)～8月30日(日)

私たちの生きる地球は、無数にある銀河の中の一つである銀河系の、その中にある太陽系にあります。

リニューアル・オープン記念として、今夜の星空の紹介とともに、地球にある明石市立天文科学館を出発し、宇宙の果てまで、最新映像でめぐる宇宙旅行にでかけます。



月の名所めぐり

9月1日(火)～9月30日(水)

うさぎに見立てた月の黒い部分は「月の海」、白い部分は「月の陸」と呼ばれています。「月の海」「月の陸」やクレーターには、それぞれ名前が付けられています。2026年4月には国際月探査「アルテミス計画」により宇宙飛行士が月上空を周回しました。月の地形をめぐり、ゆっくりと、月旅行を楽しんでみましょう。



キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。

毎週土曜・日曜・祝日と学校長期休業中(8/1～8/30)の第1回目と第3回目の投影に実施します。

キラリ☆ながれぼしのひみつ

8月1日(土)～8月30日(日)

流れ星は何でできているのでしょうか？どこからやってくるのでしょうか？今夜の星空の紹介とともに、流れ星のひみつと見つけ方についてお話しします。



おつきみアワー

9月1日(火)～11月8日(日)

身近な月について、わかりやすくお話しします。当館のねずみのキャラクター「ちよろすけ」も登場し、一緒に月旅行をします。また、季節の星座や、日本に伝わる月の物語「かぐや姫」も紹介します。



※平日は団体予約がある場合のみ投影があります。

※9月6日(日)13時00分～はクロの日！スペシャル企画の「ブラック星博士の爆笑天文教室」、9月12日(土)10時00分～はベビープラネタリウムになります。



星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と星空をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

事前申込

● 日 程：

・9月19日(土)14時30分～

詳しくは当館ホームページをご覧ください。



その他のイベント

クロの日！スペシャル企画 「ブラック星博士の爆笑天文教室」

今年も9月6日 9(ク)6(ロ)の日にブラック星博士が登場！ダジャレだらけの天文講座を開催します。

事前申込

● 日 程

・9月6日(日)13時00分～

詳しくは当館ホームページをご確認ください。



特別展

はじめ展～時と宇宙と人をつなぐモノガタリ～

7月30日(木)～9月6日(日)

リニューアルオープン第1弾の特別展として「はじめ展～時と宇宙と人をつなぐモノガタリ～」を開催します。

はじめてのプラネタリウム、はじめての時計、はじめての発見など、いろんな「はじめて」を貴重な資料で紹介します。



夏休み・児童生徒理科作品展～小学生の部～

9月12日(土)～9月27日(日)

小・中学生が、夏休みに制作した作品を展示します。



※小学生の作品は9月12日(土)～9月27日(日)、中学生の作品は10月3日(土)～10月18日(日)の期間で展示します。

Event Calendar

7月

8月

9月

7月30日(木)リニューアルオープン

7月30日(木)～8月30日(日)

「リニューアル・オープン記念 明石発・宇宙の旅2026」

8月1日(土)～8月30日(日)

「キラリ☆ながれぼしのひみつ」

7月30日(木)～9月6日(日)

「はじめ展～時と宇宙と人をつなぐモノガタリ～」

8月1日(土)

【事前申込】

8月8日(土)

明石公園天体観望会

8月22日(土)

【事前申込】

9月1日(火)～9月30日(水)

「月の名所めぐり」

9月1日(火)～11月8日(日)

「おつきみアワー」

9月12日(土)～9月27日(日)

「夏休み・児童生徒理科作品展～小学生の部～」

9月5日(土)

【事前申込】

9月19日(土)

【事前申込】

9月6日(日) 13:00～

「クロの日！スペシャル企画ブラック星博士の爆笑天文教室」【事前申込】

8月29日(土) 18:00～19:30

「シゴセンジャーファンクラブイベント」

9月19日(土)

14時 30分～【事前申込】

9月26日(土)

【事前申込】

「お月見ナイトミュージアム」【事前申込】

9月12日(土)

【事前申込】

9月26日(土) 14:30～

「館長のたのしい天文教室」

略号

プラネタリウム

一般投影

キッズ

プラネタリウム

特別展

たのしい

天文教室

星と音楽の

プラネタリウム

季節イベント

観望会

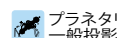
ナイト

ミュージアム

ベビー

プラネタリウム

略号



プラネタリウム
一般投影



キッズ
プラネタリウム



特別展



たのしい
天文教室



星と音楽の
プラネタリウム



季節イベント



観望会



ナイト
ミュージアム



ベビー
プラネタリウム

休館日のお知らせ

青文字：開 館
赤文字：休 館

7	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					

8	日	月	火	水	木	金	土
						1	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	

9	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				

天体観望会の実施日・申し込みについて

◆実施日時・申込方法の詳細については
ホームページをご覧ください

◆参加費 1人 300円

駐車場ご利用の場合は別途200円必要です





■施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。

■交通のご案内



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車人丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線人丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C.から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

★ 明石市立天文科学館

<https://www.am12.jp/>
X(旧Twitter)@jstm135e

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6

★ TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiawase-tenmon@city.akashi.lg.jp



SEIKO
EMBLEM



時間、それは宇宙からの贈りもの

移ろう光によって様々に変化する表情が空間にアクセントを添えます。

確かな時を刻む衛星電波ムーブメント採用。

SEIKO

お問い合わせ先: セイコーウオッチ株式会社 クロックお客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:00 土・日・祝日を除く) <https://www.seiko-clock.co.jp>